

海業の成熟期を迎えた中での新たなチャレンジ：魚津港・経田漁港（富山県魚津市）

概要

- 漁業者の減少、資源の変動等により販売事業の減少により、収益の多元化を図り、漁協経営の安定を図るという課題に直面している。
- そこで、施設整備を行い加工事業、渚泊、飲食事業、体験等の海業に取り組み一定の成果を上げてきたが、海業の成熟期を迎えた中で、従来から行っているの漁協完結型海業の実施と地域資源連携型海業への新たなチャレンジを開始。



海業の取組概要

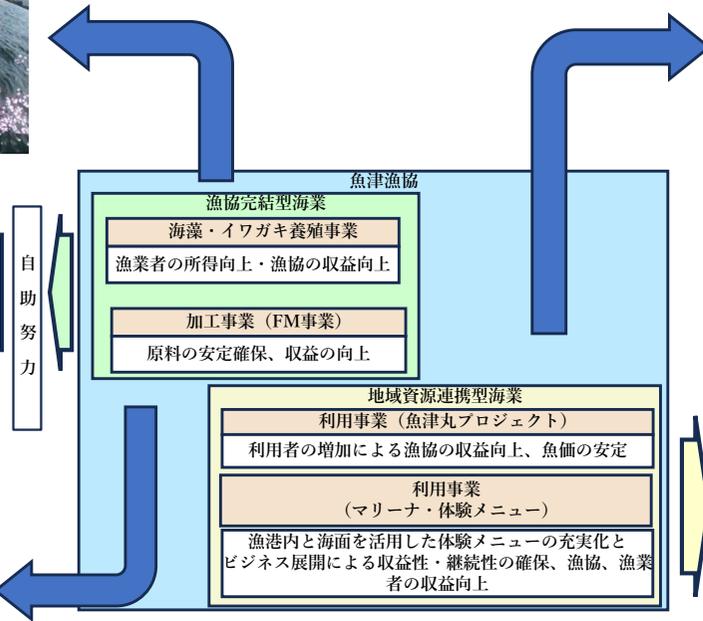
水揚の減少・漁業者の減少に伴う漁協経営構造の転換期を迎えた中で、「海業」としての新たな収益構造の確立と、地域で果たすべき漁協の新たな役割にチャレンジ。



経田地区で進められているイワガキ・海藻養殖試験

**漁業者・漁協
新たな収益基盤の確立
収益基盤の維持、強化**

県研究機関・他漁協との連携



魚津丸プロジェクト
・渚泊魚津丸
・魚津丸食堂
・魚津丸キッチン
の展開による収益の多元化

蟹気楼ロード賑わいづくり協議会（仮称）

（シティブロモーションの展開）
地域資源との連携

**地域連携体制の確立
（蟹気楼ロード）
新たな地域共存へ
（賑わいの創出）**



教育的体験事業からの脱皮へ



富山県内トップレベルの高度衛生管理型加工場。

効果

- ◇海藻・イワガキ養殖の展開により漁業者の収益手段の確保。
- ◇加工事業部門における主要収益源としての安定性の確立、原料の安定確保と多チャンネル化
- ◇魚津丸プロジェクトの地域連携による利用拡大・収益力の強化
地域資源の活用による魅力の創出
- ◇体験事業のビジネス化と収益源としての定着化

協力体制

- ・魚津漁協 ・魚津水族館、
- ・魚津埋没林博物館
- ・ミラージュランド
- ・NAPs ・富山県鮭鱒漁協
- ・魚津シーサイドプラザ
- ・水族館土産物店
- ・大町コミュニティセンター
- ・村木地域振興協議会
- ・経田地区振興協議会
- ・富山県水産研究所
- ・魚津市

スケジュール

- 令和6年 2月 体験のビジネス展開の開始
- 令和6年 2月 蟹気楼ロード賑わいづくり協議会の設立
- 令和6年 4月 イワガキシングルシード養殖試験
- 令和6年 8月、9月 蟹気楼ロード賑わいづくりイベント実施